

NEWS LETTER

男女共同参画の
推進に向けて

Vol.18

名古屋市立大学男女共同参画推進センターニュースレター

発行 名古屋市立大学男女共同参画推進センター 〒467-8601 名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1
TEL : 052-853-8577 E-MAIL : sankaku@sec.nagoya-cu.ac.jp
URL : http://www.nagoya-cu.ac.jp/about/gender/

名古屋市立大学男女共同参画推進センター長からのメッセージ

本学における男女共同参画への取り組みは、平成20年6月に設置された「男女共同参画室」から始まりました。次いで平成23年11月に「女性研究者支援室」が設置され、さらに平成26年4月にはこれらが統合されて「男女共同参画推進センター」となり、いくつかの事業を展開しています。

長い人生のなかで育児や介護は避けて通れないライフイベントであり、女性にとっても、男性にとっても大きな関心事です。本学のすべての教職員と学生が家庭生活と仕事・学修を両立できるよう、そして自らの目標に向かって自分らしく取り組めるように、限りある資源のなかで工夫しながら事業を展開していきたいと思えます。

皆様のご協力、ご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



センター長 明石 恵子
(看護学部教授・学長補佐)

男女共同参画推進センター・医学部附属病院共催 特別講演会

「モチベーションでバランスアップ」

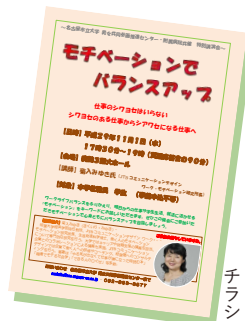
11月1日 名古屋市立大学病院3階大ホール

を開催しました。

11月1日(水曜日)、男女共同参画推進センター・医学部附属病院共催で講演会を行いました。「モチベーションでバランスアップ」と題し、講師には、株式会社JTBコミュニケーションデザイン ワーク・モチベーション研究所長の菊入みゆき先生をお招きしました。

クイズや生活満足度チャートでのチェックによる参加者自身のふりかえりもあり、楽しみながら明日からの業務や学生生活に役立つ多くのお考えをお話いただきました。終始素敵な笑顔でお話される菊入先生に、参加者の多くが質の高いモチベーションの伝播を感じ、聞き入っていました。

笑顔が人のモチベーションに与える効果の大きさや、感謝の心がモチベーションアップには欠かせない要素であると話されました。115人及び教職員と学生が同じ立場で学べる貴重な機会となりました。



開催を告知するチラシ



講師 菊入みゆき氏



講演会の様子

NEWS LETTER
Vol.18
CONTENTS

P1 センター長からのメッセージ
特別講演会報告

P2 事業報告 教養教育科目「大学特色科目」の紹介
・前期:地域特色科目2「地域社会で活躍する女性」
・後期:「ワーク・ライフ・バランスとダイバーシティ」

P3 事業報告 学生・教職員交流会
・「ワーク・ライフ・バランスインタビュー集」製作
・男女共同参画セミナー

P4 事業報告・お知らせ
・奨励賞 ・ランチミーティング ・研究支援員制度
・保育園からのお知らせ ・ワーク・ライフ・バランス相談室

事業報告

教養教育科目「大学特色科目」の紹介

男女共同参画推進センターでは、学生が社会的性差(ジェンダー)と平等について理解し、考え方や行動に生かすことができるように、平成24年度から教養教育科目「大学特色科目」を実施してきました。昨年度からは前期と後期に1科目ずつの計2科目の実施となりました。

前期 地域特色科目2「地域社会で活躍する女性」

ジェンダーについて総合的な知識、情報を得るとともに、組織の女性経営者として、あるいは上位職で活躍する女性として経験を語っていただきました。ジェンダーの固定的役割にとらわれることなく、柔軟な発想と多様性の尊重により、企業や自治体における男女共同参画をふまえた働き方を考える機会となりました。



名城大学非常勤講師 木下 薫氏



後期「ワーク・ライフ・バランスとダイバーシティ」

日本の社会におけるジェンダーとワークライフバランスが実際にどうなっているのか、各市大の各学部や部局から多面的に講義を展開しています。理系、文系という学問の多様性を超えてジェンダーについて総合的な知見を持ち、理解しながら、ジェンダーバランスとワークライフバランスの観点から学生自身が望ましい社会をデザインすることを考えました。



まとめと結論にむけたグループワーク



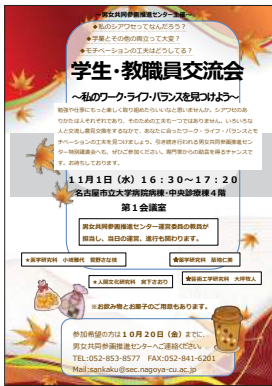
グループ別提案の様子

第1回 (4/14)	名城大学非常勤講師 木下 薫氏
第2回 (4/21)	同上
第3回 (4/28)	医学研究科産科婦人科学分野 杉浦真弓教授
第4回 (5/13)	名城大学非常勤講師 木下 薫氏
第5回 (5/19)	株式会社エステム 常務取締役 塩崎敦子氏
第6回 (5/26)	株式会社 名南経営コンサルティング特定社会保険 労務士/産業カウンセラー 宮武貴美氏
第7回 (6/2)	リゾートトラスト株式会社 人事部ダイバーシティ推進室長 吉田幸代氏
第8回 (6/9)	株式会社キャリアビジョン 代表取締役 野村恵美子氏
第9回 (6/16)	株式会社スギ薬局 商品統括部ビューティケア部 岡野恵子氏
第10回 (6/23)	名古屋市立白金保育園 園長 長友麻里子氏
第11回 (6/30)	ユニー株式会社 執行役員 グループ環境社会貢献部 部長 百瀬則子氏
第12回 (7/7)	名古屋市総務局職員部人事課人事係長 平松伯文氏
第13回 (7/14)	特定非営利活動法人PROUDLIFE代表理事 安間優希氏
第14回 (7/21)	特定非営利活動法人参画プラネット常任理事/ 2級コンサルティング技能士 重原惇子氏
第15回 (7/28)	同上

第1回 (9/29)	男女共同参画推進センター 明石恵子センター長	オリエンテーション
第2回 (10/6)	病院救命救急センター 平原広登看護師長	「看護の現場における男 性・女性の協働」
第3回 (10/13)	システム自然科学研究科 三浦均准教授	「ジェンダーと科学」
第4回 (10/20)	医学研究科長 浅井清文教授	「医療におけるワークライ フバランス」
第5回 (11/10)	臨床研究開発支援センター 萩原宏美薬剤師	「変革時代におけるワークライフ バランスとキャリアの考え方」
第6回 (11/17)	医学研究科視覚科学分野 加藤亜紀講師	「家庭の数だけ答えがある~そ れぞれのワークライフバランス」
第7回 (11/24)	薬学研究科 菊池千草講師	「薬剤師をとりまく生物学 的性差と社会的性差」
第8回 (12/1)	看護学部 寺口顕子准教授	「就労女性の妊娠・出産・ 子育て支援」
第9回 (12/8)	看護学部 堀田法子教授	「子どもの人権と児童虐 待」
第10回 (12/15)	芸術工学研究科 鈴木賢一教授	「ユニバーサル・デザイン」
第11回 (12/21)	経済学研究科 山本陽子教授	「ワークライフバランスと 企業業績」
第12回 (12/22)	人間文化研究科 宮下さおり准教授	「職業におけるダイバーシ ティ」
第13回 (1/5)	人間文化研究科 宮下さおり准教授	「職業と家庭生活の調和 —オランダモデル—」
第14回 (1/19)	経済学研究科 藤田菜々子教授	「少子化とワークライフバランス— 1930年代のスウェーデンの経験」
第15回 (1/26)	男女共同参画推進センター 明石恵子センター長	まとめと結論

2017年11月1日

学生・教職員交流会～私のワーク・ライフ・バランスを見つけよう～を開催しました



交流会のチラシ

11月1日(水曜日)、学生・教職員交流会～私のワーク・ライフ・バランスを見つけよう～というテーマで「学生・教職員交流会」を開催いたしました。

当日の参加者が6～7名のグループに分かれ、グループごとに意見交換を行いました。

担当教員の進行で

(1)自身が感じるシアワセ

(2)自身が感じている学業と生活のバランスをとることの難しさについて、各自が付箋に書き込み話し合いました。



意見交換の様子



グループ毎の発表

教職員、学生、それぞれの立場での意見を交換する中で、多くの共通点や気づきがありました。そこから見えてくる問題の解決につながるモチベーションの持ち方を探りながら、最後はグループごとでまとめ、モチベーションを保つ工夫や提案を1～2個模造紙に書き込み発表しました。

どの提案も勉強や仕事にもっと楽しく取り組むためのモチベーションの工夫であり、日々の暮らしに役立つような提案が数多くなされました。以下に交流会から生まれたモチベーションを保つ工夫、提案を紹介しますので、ぜひ参考にして下さい。

- | | | |
|--|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・息抜きをしよう ・日常を楽しむ ・やりたいことの時間を決める ・リフレッシュタイムをつくる ・目標を明確にする | <ul style="list-style-type: none"> ・一緒に楽しみながらできる人を探す ・無理なことは断る ・明日はきっといい日になる ・高校時代を思い出して効率的に生活を送る ・好きなことをやってみることからはじめる | <ul style="list-style-type: none"> ・他の人に頼る ・休日をつくる ・ごほうびをつくる、用意する |
|--|---|--|

その後、引き続き開催した男女共同参画推進センター特別講演会へも多数が参加し、さらに専門家からの助言を得るチャンスとなりました。

「ワークライフバランス・インタビュー集」を製作

男女共同参画推進センターでは、平成24年度、25年度に「女性研究者ロールモデル集」1巻、2巻を発行しました。

あわせて25名の教員、大学院生にインタビューを行い、研究に対する思いや夢などを語られ、将来研究者をめざす高校生や大学生に広く読まれています。

28年度は、ワーク・ライフ・バランスをテーマとして、本学に勤務する教員および職員の働く姿を取り上げ、「山本陽子・奥田伸子合同ゼミ・ワークライフバランス研究会」の学生の協力を得て作成いたしました。

今年度も継続して民間企業に勤務する男性を中心に同様のインタビューを実施し、男性が考えるワーク・ライフ・バランスやそれを実現する上での課題やポイントなどをまとめ、作成しています。完成をご期待ください。



インタビュー集表紙

男女共同参画セミナー「男性の就業とワーク・ライフ・バランス」

7月13日(木曜日)13時00分～14時30分、滝子キャンパス 1号館

NPO法人ファザーリングジャパンでご活躍の社会保険労務士・横井寿史氏をおむかえし、男性が職場でワーク・ライフ・バランスを実現することの意義や実現するための秘けつなどを学生の皆さんと考えました。



当日のチラシ

男女共同参画奨励賞 表彰式・事例報告会

2018年1月24日(水曜日)男女共同参画の実現に関する優れた研究・活動などを行っている本学の在学学生を表彰し、事例報告会を開催しました。

今回は活動・学生部門として「山本陽子・奥田伸子合同ゼミ・ワークライフバランス研究会」による「ワークライフバランス・インタビュー集」作成の取組みを表彰し、受賞者代表の名古屋市立大学経済学部4年岡部将大さんから研究活動をご報告頂きました。



告知用のチラシ

その後研究会所属のゼミ生も交えて取組みのきっかけや、学部を超えた連携のポイントなど参加者からの質問にお答えいただき、活動への理解がより一層深まりました。今後も研究・活動の継続と、社会への貢献を期待いたします。

男女共同参画奨励賞は、本学の学生、教職員だけではなく、卒業生も含めた応募を行っております。男女共同参画推進センターホームページ、ポスター又は事務局を通してご案内いたします。

皆様のご応募をお待ちしております。



受賞者の皆さんと



事例報告会での活動報告

「ランチミーティング」各キャンパスで開催しています

参加はしたいけど、キャンパス間の移動が不便で…。そんな声にお応えし、キャンパスごとのランチミーティングを開催しています。今後も各キャンパスへ出向きますので多くの方の参加をお待ちしています。



ランチミーティングのチラシ
田辺通キャンパスにて

開催実績	第1回	11月9日・山の畑キャンパス開催
	第2回	12月13日・桜山キャンパス開催
	第3回	1月19日・田辺通キャンパス開催
	第4回	3月・北千種キャンパス開催予定

「研究支援員制度」ご利用について

出産、育児、介護等により研究時間の限られた女性研究者の研究活動を維持・促進することを目的として、当該期間中の女性研究者に研究支援員を配置しています。

平成29年度の利用者は4名でした。

研究支援員制度利用者による報告会「平成29年度研究支援員制度利用報告会」を3月14日に開催しました。



ワーク・ライフ・バランス相談室

ワーク・ライフ・バランス相談室は2012年11月に設置され、ワーク・ライフ・バランスに関する相談および情報提供をおこなっています。詳細はホームページの開室スケジュールをご覧ください。(要予約) ☎052-853-8577

<http://www.nagoya-cu.ac.jp/about/gender/wlb-consultation/open.html>

さくらんぼ保育所だより

♪じぶんたちでクッキング♪

さくらんぼ保育所では、月齢に合わせて、子ども自身が食材に触れることや実際に調理の簡単な作業を行なう等のクッキング保育に取り組んでいます。2月に2歳児の子ども達が行なったのは、野菜炒めの「じゅうじゅう焼き」。野菜をちぎったり、ホットプレートでじゅうじゅう音をたてて野菜を混ぜたりと楽しんで子ども達。出来上がると、3・4歳児のみんなに嬉しそうにふるまっていました。



2018年3月現在、本学の女性教員比率(専任)は **22.6%** です。